

学校教育目標	ひびきあい かがやく 洋一の子 ～豊かな心を持ち、仲間とともに、すすんで未来を拓く子を育てます～ 好奇心をもちながら、主体的に考え、学び続ける子を育てます。(知) 自分と周りの人を大切にし、思いやりの心をもった子を育てます。(徳) 自分の健康に関心を持ち、心身ともにたくましく生きる子を育てます。(体) 地域に目を向け、周りの人と協力して行動する子を育てます。(公) 違いを認め、誰とでも分かり合おうとし、共に生きていく子を育てます。(開)				
	学校概要	創立 53 周年	学校長 千本 恵子	副校長 澤田 圭美	2 学期制
児童生徒数: 561 人		主な関係校: 洋光台第一中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋一中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈自分づくりに関する力〉</p> <p>自己肯定感 コミュニケーション まちを愛する態度・社会参画</p>	<p>洋光台第一中学校 洋光台第一小学校 洋光台第三小学校</p>	<p>①「洋光台のまち」を大切に育てる子ども②自尊感情を高めていく子ども③楽しく学習に取り組む子ども</p> <p>①学校運営協議会をブロック合同で行い、互いの課題や重点研究の情報を共有し、地域で関わり合いながら、地域に貢献する子どもを育成する。②ブロック合同で人権研修を行い、他人の気持ちを考えて行動し、自尊感情を高めていく子どもを育成する。③9年間を見通したカリキュラムの作成や小中合同授業研究会を行い、小中一貫教育カリキュラムの授業を通し、主体的に学習に取り組む子どもを育成する。</p>

<p>中期取組目標</p> <p>学校教育目標の実現に向けて、すべての子どもが豊かに学び、ともに高めあう学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分かる喜び、できる喜びを感じることでできる授業 ～確かな学力の定着と主体的に問題解決をする力の育成～</li> <li>○一人ひとりの子どもが安全・安心に過ごすことができる教育環境 ～自尊感情、自己有用感を高めるための取組の推進～</li> <li>○家庭・地域と連携を図りながら、地域の教育力を活かす、開かれた学校</li> <li>○連携・協力して、一人ひとりの洋一の子を全教職員で指導支援する教職員</li> </ul>
---

重点取組分野	具体的取組
<p><b>知</b> 学習指導</p> <p>担当 学力向上・評価委員会</p>	<p>①「主体的に問題を解決する力」を本校児童に育てたい資質・能力として、今年度から特別活動を重点研究として取り組んでいく。②教科領域を横断的に捉え、児童が各教科領域特有の見方・考え方を働かせたり、自分のよさや経験を生かしたりして、主体的に問題解決していける教育活動を行う。</p>
<p><b>徳</b> 人権教育</p> <p>担当 人権・児童支援委員会</p>	<p>①Y-Pアセスメント等を活用し、だれもが安心できる学級の風土づくりを目指す。②「特別の教科道徳」の充実を図る。③人権目標を立て、PDCAサイクルを意識した取組や体験的学習を通して、人権尊重の意識を高め、自尊感情の醸成を図る。</p>
<p><b>体</b> 健康教育</p> <p>担当 健康・安全委員会</p>	<p>①体育的行事や1校1実践運動等、楽しく体を動かすことができる活動を行い、すすんで運動しようとする態度を育成する。②学校保健委員会の取組を通して、けがの予防について考え、よい習慣を続けようとする態度を養う。③健康な体づくりには食との関わりがあることを知り、自分の食生活をふり返り、見直そうとする態度を養う。</p>
<p><b>公</b> 自分づくり教育</p> <p>担当 特活部(キャリア教育)</p>	<p>①学習や学校行事等で、他者や地域と関わる機会を設け、自分の役割を意識できるようにする。②振り返りの時間を丁寧に指導することで、自分自身の成長を実感したり、自分や他者のよさに気付いたりしながら、なりたい姿に向かっていくことができるようにする。</p>
<p><b>いじめへの対応</b></p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>	<p>①「いじめ＝された子がいやだと思うこと」として理解し、認知の感度を上げ、未然防止、迅速な初期対応、心情に寄り添った継続的な対応と解決に取り組む。②いじめ防止対策委員会等、全職員で共通理解を図る場の設定、定期的なアンケートや教育相談の実施等、些細な変化を見逃さない体制をつくり、組織的な対応力を高める。</p>
<p><b>人材育成・組織運営(働き方)</b></p> <p>担当 教務部</p>	<p>①運営委員会、三委員会、学年研等では、全職員が学校全体の状況を把握し、フォローアップし合える組織運営を行う。②会議の精選など働き方改善に取り組む。③目標達成に向けてPDCAサイクルを整え、若手教員が自己有用感をもてる人材育成を目指す。</p>
<p><b>特別支援教育</b></p> <p>担当 人権・児童支援委員会</p>	<p>①UDを基本に、学習環境の整備と分かる授業づくりに努める。②教科分担任等を生かし、複数の教職員が関わる体制をつくる。③第一学習ルーム、第二学習ルームといった支援ニーズに応じた学習環境や生活環境を整え、安心して学び過ごせる校内体制を明確にする。</p>
<p><b>地域学校協働活動</b></p> <p>担当 教務部</p>	<p>①地域協力者による出前授業や地域防災訓練等に積極的に児童と職員が参加し、地域との関わりを深める。②学校運営協議会で協議をし、地域やブロックの三校で協力し、地域の教育力の活用や安全対策の充実を図る。③学校便り、ホームページなどを積極的に活用して教育活動について発信し、地域との結びつきを高める。</p>
担当	b9
担当	b10
担当	